



令和8年度

新庄小学校だより 9月号



学校評価アンケート(7月実施)結果

※表内の数字は肯定的評価の割合(%)

◆目指す子供の姿に関する項目 (*教職員:実現に向けて手立てを講じているかに関する評価)

設 問 内 容	児童	保護者	教職員	*教職員
1 学校に行って取り組みたいと思えることがある	87.7	90.6	96.7	100.0
2 「くらしづくり」の時間では、進んで意見を言ったり、友達の話を真剣に聞いたりしている	88.0	—	83.3	93.3
3 自分もみんなも大切にしている	95.6	96.6	89.7	100.0
4 自分のやりたいことを見付け、やりたいことを決めて取り組むことができている	91.7	79.5	90.0	93.3
5 授業では、「できた」「わかった」などと思えたり、友達の意見を参考に考えたりすることができた	91.4	—	100.0	—
6 元気な体をつくるためのめあてをもち、達成を目指して運動に取り組んでいる	89.3	69.1	86.7	83.3

設問3が三者ともに高い数値となったことは、大変うれしいことです。新庄小学校の目指す子供像「思いやりいっぱい」の達成に向けて、本校が取り組んできたことの積み重ねが、今回の結果に表れてきていると捉えます。今後も、さらなる自他を尊重する心を育んでいけるように取り組んでいきます。

設問1においても、三者とも高い数値となっています。子供たちは、前向きな思いをもって登校してきているようです。このような子供たちの姿は、保護者からも評価されていますし、教職員は子供たちが前向きな思いになるような手立てを講じています。今後も、より一層子供たちが前向きな気持ちをもって登校できるように、取り組んでいきます。

設問4と6は、子供たちの主体性を育むために取り組んでいることです。子供の評価は高くなっていますが、保護者の評価は子供たちより低くなっています。子供たちは、学校生活において主体的に活動し、その姿について教職員も一定の評価をしています。しかし子供と保護者の評価にひらきがあります。このことから、家庭生活においてもっと自律的で、主体性を発揮した生活を送ることができるように、家庭との連携をしっかりと取りながら、自己肯定感や自己有用感が高められるよう手立てを講じていく必要があると考えます。

◆学校の取組に関する項目

設問内容(上段:保護者、下段:教職員)	保護者	教職員
1 保) 各種たよりやHP等で学校の様子が分かる 教) 各種たよりやHP等で学校の様子が分かるように保護者や地域に伝える努力をしている	82.2	76.7
2 保) 学校は家庭との連携を図るように努力している 教) 児童の成長を考え保護者との連絡を密にとるようにしている	91.1	93.3

概ね良好な評価をいただきました。特に連携を図る点については、満足できる状況だと捉えます。2学期以降もご家庭との連携を図っていきますので、ご協力をお願いいたします。

各種たよりやHPは、現在の更新頻度を維持し、児童の素敵な姿が見られた際には、積極的に紹介するよう努めます。

◆ご家庭での取組に関する項目

設 問 内 容	保護者
1 学校行事やPTAのイベント等に参加しようとしている	87.9
2 「早寝・早起き・朝ご飯」を心掛けるようにしている	95.6

各ご家庭におかれまして、日頃よりお子さんの健やかな成長のためにご尽力いただき感謝します。2学期以降も、できる範囲で学校やPTA行事へのご協力をお願いします。